【とうきょう　すくわくプログラム活動報告書】

園名：すぎなみのぞみ保育園（1 歳児クラス）

活動日時：2026年7月14日（火）

1，　活動テーマ

＜テーマ＞

コンビカーにまたがる、押して歩く以外の経験をする。

＜テーマ設定理由＞

前回はコンビカーにまたがる、押して歩く姿のみであったが、その後園外施設でコンビカーを用意すると、またがっては床を蹴って進もうとする姿が見られたため。

2，活動スケジュール

・桃井児童館に行く。
・広場やコンビカーを借りる。
・十分に遊ぶ時間を確保する。

3，活動の為に準備した素材や道具、環境の設定

準備物：園外施設のコンビカー、手押し車
環境設定：桃井児童館に行く機会を設ける、早めに園を出て遊ぶ時間を確保する。

4，探究活動の実践

＜活動内容＞

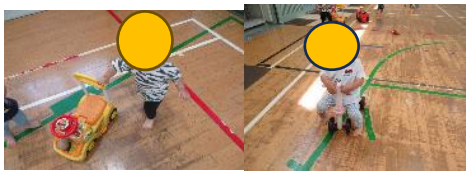
コンビカーを用意する。まだ使い方が理解できていない子もいることを想定し、保育者がコンビカーにまたがり床を蹴ってすすむ姿を見せる。コンビカーのみではなく、人数分の玩具を確保するため、手押し車も用意する。もう一方の保育者は、子どもの反応に合わせて手助けや楽しい気持ちに共感して声掛け等をする。

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

前回の活動報告書にて、またがる姿があった子は今回も自ら意欲的にまたがり、その後床に足をついて蹴ってすすむ姿が見られる。ゆっくりすすみ床を蹴る感覚を確かめながら移動することを楽しむ子。なんとなく感覚が分かり、力強く床を蹴りスピードが出る様子を楽しむ子がいる。また、前回は押して歩くだけの姿だった子も自らまたがり、床を蹴ってすすむ子もいる。その中で、自分の進みたい方向があると自分なりに足の力の入れ方を試してみたり、コンビカーに乗りながら向きたい方向に手の力や体を傾けながら動かそうと試行錯誤する姿が見られる。まだ慣れていないこともあり、少しずつ方向を変えている。

前回、保育者が手助けしてコンビカーに座らせても、すぐに降りて広場内を走ることを楽しんでいた子は、今回は自らまたごうとする。手助けしてまたがらせると、しばらく乗ることを楽しむ。降りた後も、コンビカーに興味を示し近寄っては触ってみたり、またごうとしたりと前回よりも興味や挑戦したい姿が見られる。

前回、コンビカーのタイヤが気になり観察を楽しんでいた子は、手押し部分を押してみて動く様子を観察し、手で押し続けるとすすんでいく事を知ると、押して移動することを楽しむ。楽しさを知ると、その後は何度も押して進む。





5，振り返り

＜振り返りによって得た先生の気づき＞

前回の報告書から日数は経っていないものの、この間にも数回、園外施設でコンビカーを経験していることや外あそびや室内あそびの経験からか、前回から成長している姿が見られる。足でバランスをとる感覚が日々の経験の積み重ねにより変化していくことを改めて感じる。

また、1 人ひとりの姿も違うため、個々の足の使い方の違いを感じることができると感じる。